2022/12 事前セットアップ

Infra Workshopに向けて以下を事前に準備してください。

- 1. VirtualBox + minikube + kubectlコマンド
- 2. Docker Desktop
- 3. DockerHubのアカウント
- 4. GitHubのアカウント+git コマンド

1. minikube+kubectl

- ・VirtualBoxは以下からダウンロードしインストール https://www.virtualbox.org/
- ・minikube は以下のドキュメントを参照しインストール (1. Installationを参照) https://minikube.sigs.k8s.io/docs/start/
- ・kubectl は以下のドキュメントを参照しインストール https://kubernetes.io/ja/docs/tasks/tools/install-kubectl/

上記3つのインストールが完了したら、以下のコマンドでminikubeの起動とアクセスを確認してください。

\$ minikube start --kubernetes-version v1.25.3 --vm-driver virtualbox

起動に成功すると以下が表示されます。

🯂 終了しました!kubectl がデフォルトで「minikube」クラスターと 「default」ネームスペースを使用するよう設定されました

kubectl コマンドでKubernetesのコンポーネントが起動しているかを確認して下さい。

\$ kubectl get pod -n kube-system 以下のように全て"Running"となっていれば成功です。

NAME	REAÐY	STATUS	RESTARTS
AGE			
coredns-565d847f94-rsgff	1/1	Running	3 (7d18h ago)
13d			
etcd-minikube	1/1	Running	3 (7d18h ago)
13d			
kube-apiserver-minikube	1/1	Running	3 (7d18h ago)
13d			
kube-controller-manager-minikube	1/1	Running	3 (7d18h ago)
13d			
kube-proxy-gf46c	1/1	Running	3 (7d18h ago)
4.3.1			

13d

kube-scheduler-minikube	1/1	Running	3 (7d18h ago)
13d			
storage-provisioner	1/1	Running	7 (2m25s ago)
13d			

2. Docker Desktop

・Docker Desktop は以下からダウンロードしインストール https://www.docker.com/products/docker-desktop/

インストールが完了したら、以下のコマンドで動作を確認します。

\$ docker run hello-world

以下のようにコンテナの実行結果が返って来れば成功です。

Hello from Đocker!

This message shows that your installation appears to be working correctly.

To generate this message, Đocker took the following steps:

- 1. The Đocker client contacted the Đocker daemon.
- 2. The Đocker daemon pulled the "hello-world" image from the Đocker Hub.

(amd64)

3. The Đocker daemon created a new container from that image which runs the

executable that produces the output you are currently reading.

4. The Đocker daemon streamed that output to the Đocker client, which sent it

to your terminal.

To try something more ambitious, you can run an Ubuntu container with:

\$ docker run -it ubuntu bash

Share images, automate workflows, and more with a free Đocker IĐ: https://hub.docker.com/

For more examples and ideas, visit:
https://docs.docker.com/get-started/

3. DockerHubのアカウント

Webブラウザで https://hub.docker.com/ にアクセスし、"Register"からアカウントを作成します。

アカウントを作成後、ログインし以下のように自分のアカウントになっていれば成功です。



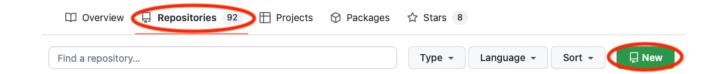
4. GitHubのアカウント+git コマンド

Webブラウザで https://github.com/ にアクセスし、アカウントを作成します。 以下のQiitaを参照しアカウントを作成してください。 https://giita.com/ayatokura/items/9eabb7ae20752e6dc79d

git コマンドは、OS標準でインストールされている場合がありますが、インストールされていない場合は、以下を参照しgit コマンドをインストールしてください。

https://www.sejuku.net/blog/73444

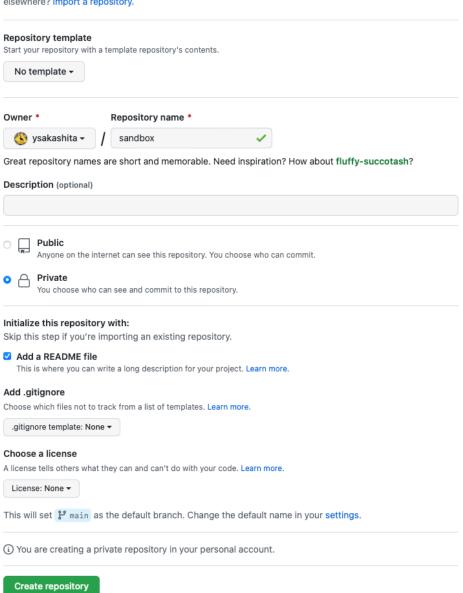
gitコマンドまでインストールが完了したら動作確認を行います。 Webブラウザで<u>https://github.com/</u> にアクセスしログインします。 "Repositories"->"New"をクリックし、新規のレポジトリを作成します。



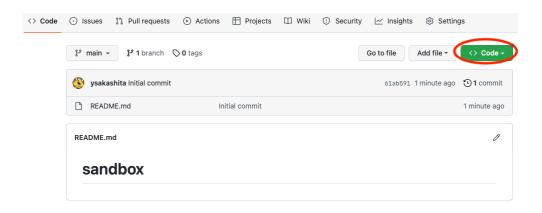
以下の例では"sandbox"という名前のレポジトリを作成しています。

Create a new repository

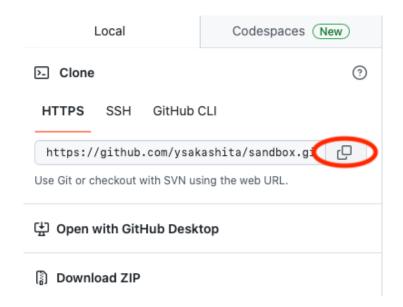
A repository contains all project files, including the revision history. Already have a project repository elsewhere? Import a repository.



作成したレポジトリのページを開き、"code"をクリックします。



URIの右側のコピペのアイコンをクリックし、クリップボードへコピーします。



コンソールでgit cloneコマンドを実行します。(URIは上記でクリップボードにコピーされたものを使います)

\$ git clone https://github.com/ysakashita/sandbox.git

cloneに成功し、自分のPCにレポジトリがダウンロード出来ていれば成功です。

\$ cd sandbox/

次に、git へ pushできるかも確認します。

README.md ファイルを編集します。

\$ vi REAÐME.md

編集したファイルをコミットしGitHubへpush(アップロード)します。

- \$ git add .
- \$ git commit -m "test"
- \$ git push origin main

コマンドが成功した後、WebブラウザでGitHubのレポジトリへアクセスし、README.mdファイルを確認します。編集した内容が表示されていれば成功です。

以上。